

自動麻酔記録装置等 I/F 機能仕様書

R.3 2005.12.13

日揮情報システム株式会社

版数	改版内容
R.0	初版
R.1	「3. IFデータ項目」の輸血量_WBCをWBに修正
R.2	暗号キーの記述取止め。 本書タイトルの変更。
R.3	(1)自動麻酔記録装置等 I/F_XML定義書 の改訂(R.4) <ul style="list-style-type: none">・ NULL値で登録する場合と登録しない場合の表記方法の変更・ 偶発症の成因<origin>の修正 (2)自動麻酔記録装置等 I/F_XMLサンプル.xml の改訂(R.3) 偶発症の成因<origin>の修正

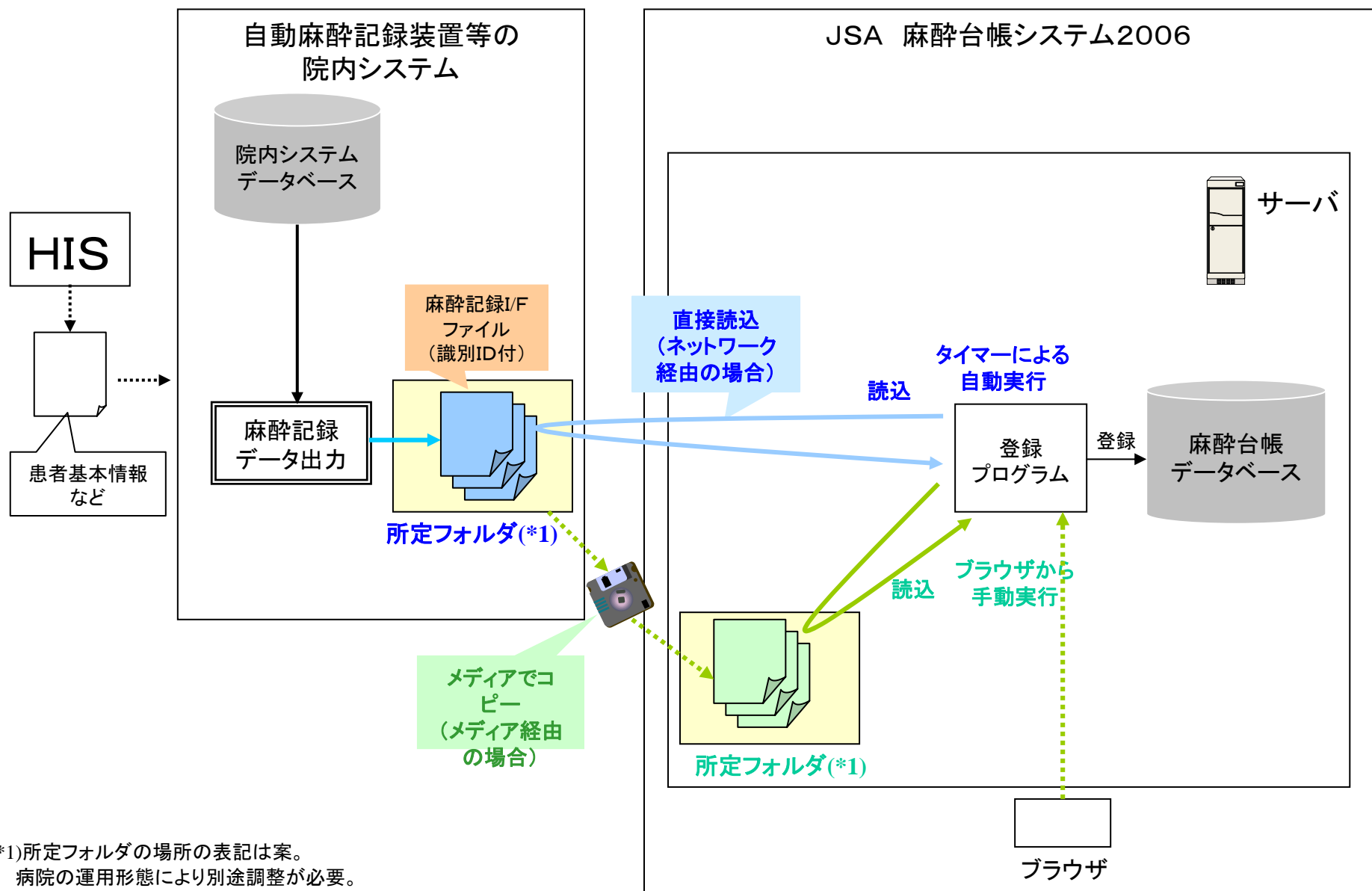
1. 自動麻酔記録装置等 I/F システム概念図
2. I/F仕様
3. I/Fデータ項目

(別紙)

「自動麻酔記録装置等 I/F_XML定義書 (R.4)」

「自動麻酔記録装置等 I/F_XMLサンプル.xml (R.3)」

1. 自動麻酔記録装置等 I/F システム概念図



(*1)所定フォルダの場所の表記は案。
病院の運用形態により別途調整が必要。

2. I/F 仕様

	項目	内容	備考
1	I/F方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク経由によるファイル渡し 又は ・メディア(FD,USBメモリなど)経由によるファイル渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル渡しのみによる疎結合でI/Fを実現。 (自動麻酔記録装置等の院内システム側はファイルを作成したからといって、麻酔台帳システム側に何かを通知する必要はない) ・自動麻酔記録装置等の院内システム側はファイルを作る所までを実施。 ・麻酔台帳側はファイルを読み込み、台帳へ登録する。
2	ファイル フォーマット	XML形式	
3	文字コード	シフトJIS	
4	暗号化	ファイルデータをキー交換(秘密鍵のみの方式)による暗号化／復号化を実施する 暗号化方式及び暗号キーについては、学会にお問合せください。	メディア持出しによる情報漏洩を防止する為。
5	ファイル	<ul style="list-style-type: none"> ・1麻酔記録当り1ファイルとする。 ・ファイルには、麻酔記録を一意に識別するための「識別ID」を含める(識別IDは一意の整数とする) ・ファイル名は一意となるよう以下の形式とする。 ■識別ID_ファイル作成時刻(yymmddhhmiss).xml (ファイル名例) 12345_0500928135430.xml 	・「識別ID」は、麻酔台帳に登録する。もし同じ識別IDのファイルが再び来た場合には、麻酔台帳へ上書き登録をする。
6	ファイル 交換フォルダ	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル交換用フォルダは設定ファイル等で指定可能とする。 (自動麻酔記録装置等の院内システム側はファイル出力先フォルダに当たる) (麻酔台帳側はファイル読込先フォルダに当たる) ・フォルダの場所(マシン)は、病院の環境に応じ決定する。 	

3. IFデータ項目

No.	項目名
1	患者番号
2	患者氏名
3	患者氏名かな
4	患者生年月日
5	患者性別
6	患者ABO式血液型
7	患者RH式血液型
8	患者血液型確定区分
9	患者身長
10	患者体重
11	患者BMI指数
12	患者年齢
13	ASA PSコード
14	手術部位分類コード
15	手術部位コード
16	出血量(g)
17	出血量_備考
18	膠質(こうしつ)輸液量(ml)
19	晶質輸液量(ml)
20	尿量(ml)
21	尿量_備考
22	病棟・日帰り・ICU区分
23	麻酔実施科区分
24	麻酔場所区分
25	術前合併症分類コード
26	術前合併症コード

No.	項目名
27	体位コード
28	麻酔法コード
29	入室時刻
30	退室時刻
31	手術室滞在時間
32	手術開始時刻
33	手術終了時刻
34	手術時間
35	麻酔開始時刻
36	麻酔終了時刻
37	麻酔時間
38	輸血量_CRC
39	輸血量_CRC単位区分
40	輸血量_WB
41	輸血量_WB単位区分
42	輸血量_PC
43	輸血量_PC単位区分
44	輸血量_FFP
45	輸血量_FFP単位区分
46	輸血量_自己血
47	輸血量_自己血単位区分
48	輸血量_5%アルブミン製剤
49	輸血量_5%アルブミン製剤単位区分
50	輸血量_その他製剤
51	輸血量_その他製剤単位区分
52	輸血量_その他製剤名
53	輸血備考

No.	項目名
54	偶発症の種類大分類コード
55	偶発症の種類小分類コード
56	偶発症の種類その他
57	発症時期コード
58	防止の可能性コード
59	転帰コード
60	転帰その他
61	偶発症の原因大分類コード
62	偶発症の原因中分類コード
63	偶発症の原因小分類コード
64	偶発症の原因その他
65	成因_術前評価不十分a
66	成因_知識不足b
67	成因_技術不足c
68	成因_状況判断の遅れd
69	成因_コミュニケーション不足e
70	成因_看視不十分f
71	成因_過重労働g
72	成因_マンパワー不足h
73	成因_その他x